

事務事業名	非常備消防施設維持管理事業			会計	一般会計		事業種別	経常	開始		終了	
H27担当課等名	危機管理室	H27係等名	消防団係	H26係等名	消防団係							
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり									
	施策	41	災害対策の推進									
目的	対象(誰・何を)	消防団施設、装備、機関						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	管理する							機関数(台)	76		
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	常時出動できる体制(出動可能機関÷全機関(%))				100	100	100	100			
	定性目標											
事業概要	消防団自動車、ポンプ自動車、小型動力消防ポンプ付積載車、C-1ポンプ等の維持管理。											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	1 常時出動できるよう機関を整備しておく。 (2機関運用の地区の検討、リストラを希望する機関(地区)と周辺地域の出動態勢の確保) 2 詰所の経常経費の管理を行う。					1 常時出動が可能な機関数			1 76台			
						2 詰所維持管理			2 74カ所			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		17,770	17,719	16,574	24,998	(そ)諸収入 261千円						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他		258	258	261	236							
一般財源		17,512	17,461	16,313	24,762							
人件費計(千円)②		715		715								
正規職員所要時間		200		200								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		18,485	17,719	17,289	24,998							
事業内容・目標達成状況の振り返り	車両更新6台を行い車両の維持を行うことができた。											
改革改善の考え方	①問題点	現状を維持しながらも、団員確保が困難な現状では、必要に応じて詰所の統廃合を地元の理解を得ながら進めて行く必要がある。										
	②改革提案	現消防団員数に応じた車両(班)数とし、団員の過負担を回避したい。一方で個々の班の消防技術力を高め住民の安全・安心を確保していく。										